



新型コロナウイルスは、子どもたちの学校生活に大きな影響を及ぼしました。全員がマスクを着け、座席の間隔を空けての学習。そのような中であっても、子どもたちはしっかり前を向いて学んでいます。

正しく知ること

日常生活が制限され、普段どおりの学校生活を送ることができず、不安やストレスを抱える子どもたち。新型コロナウイルスや自分自身の心の状態について学習しました。

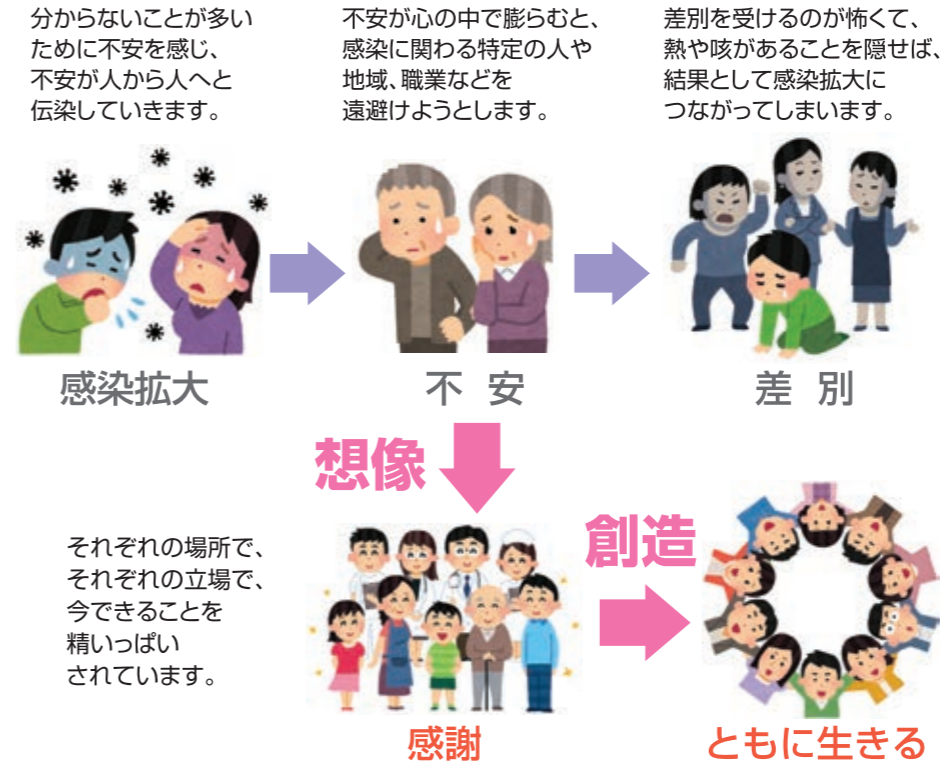


正しい情報源の知識を身につけることはもちろん、学んだ知識を実感の伴った理解へと深めることが大切だと思います。そのためには、**みんなで考え工夫したり体験したりすることが大事**です。



西脇市スクールカウンセラー
永浦 拓先生

人権尊重のキーワード「そうぞう」



創造すること

集会活動を行えない中、6年生が中心となり、タブレット端末を使ったリモートでのクリスマス集会を企画。コロナ禍でどのように学校生活を楽しむか考え工夫しました。

密を避けるため、みんなで集まることができませんでした。初めてのチャレンジで大変だったけど、みんなが笑って楽しめたので良かったです。

芳田小学校6年 宇仁颯乃香さん



途中トラブルもあったけど、教室から笑い声が聞こえてきて良かったです。これからもみんなで楽しめる企画をしていきたいです。

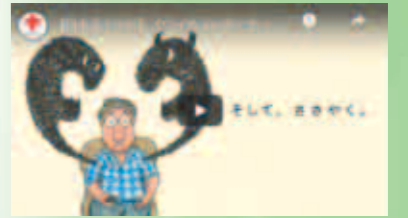
芳田小学校6年 徳岡 凜音さん

スマートフォンのカメラでQRコードを読み取ると、資料が表示されます。

新型コロナウイルスに関する資料
日本赤十字社



「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~」



「ウイルスの次にやってくるもの」

